

研究課題名	咽頭・喉頭・気管狭窄症に対する全国疫学調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 教授 竹野 幸夫
研究期間	2019年7月22日(倫理委員会承認後)～2022年10月31日
対象者	本研究の対象となるのは、2013年1月1日から2017年12月31日の間に、咽頭・喉頭・気管狭窄症の診断の下、診療を施行された患者さんです。
意義・目的	咽頭・喉頭・気管狭窄症の実態は明らかではないため、適切な診療を受けられず、病悩期間が長期にわたる患者さんも少なくありません。本研究では、上気道狭窄に関する全国疫学調査を行うことにより、咽頭・喉頭・気管狭窄症に関するエビデンスを蓄積し、診療ガイドライン作成の礎とすることを目的とします。
方法	2013年1月1日から2017年12月31日に診療を行った患者さんに関して、咽頭・喉頭・気管狭窄症の原因となった疾患、臨床経過(症状、診断、治療)、年齢、性別に関する情報を収集します。氏名や住所は収集しません。本院で匿名化した後、情報を京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科へ提供します。
研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益・総合的評価・対策	研究対象者には本研究による直接的な利益はありませんが、本研究により咽頭・喉頭・気管狭窄症の実態が把握でき、エビデンス創出につながり、診療ガイドライン作成への礎となります。また、観察研究であり、研究対象者に対して負担やリスクを増すものではありませんが、個人情報の取り扱いには十分配慮をします。
研究に関する情報公開の方法	本研究で得られた成果を論文または学会で発表する場合は、研究責任者、本研究の関係者が協議の上取り決めます。研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、対象者が特定できないよう十分に配慮します。
試料・情報の保管及び廃棄の方法	研究責任者、本研究の関係者は、本研究の実施に関わる記録を適切に保管し、研究終了10年後に適切に廃棄します。
研究の資金・利益相反	運営交付金を使用します。 利益相反はありません。
共同研究機関	本研究は京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科(研究責任者 大森 孝一)

を代表機関とし、全国の日本文管食道科学会認定研修施設および小児専門医療施設で行う多施設共同研究です。京都大学に情報を集め解析します。

試料・情報の管理責任者

京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 大森孝一

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

問合せ・苦情等の窓口

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5252

広島大学病院感覚器・頭頸部診療科（耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 助教 堀部 裕一郎

研究機関：広島大学